

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ州)	在リヨン出張駐在官事務所 リヨン日本人会治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 紙	2012年2月29日	2012年2月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び在リヨン出張駐在官事務所ルート	
調査項目:	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

## 報告要旨

### 1、邦人対象の治安情報

- A、 一般的傾向
- B、 地区別・犯罪集計結果：補足文書1
- C、 多発の手口と場所の特定、防止策：補足文書2

#### A、一般的傾向

今月は、個人を狙った空き巣・盗難、次いで強盗・暴力窃盗事件が多く見られました。特に、お年寄りを狙った偽の警察官・水道局職員の手口による盗難が相次ぎました。強盗事件については、相変わらずタバコ屋などの小規模商店に武器を持って押し入るケースが多く、路上での個人に対する恐喝・窃盗も、武器を使ったり殴ったりする暴力的な犯行が目立ちました。カージャック・ホームジャック事件も数件報告されています。

#### [補足文書1]

#### B、地区別 治安情報集計結果

地域別に見ると、特にリヨン東地区の Villeurbanne、リヨン北地区で犯罪が多く見られました。次いでリヨン3区、リヨン7区となっています。

### 2012年2月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨ 東	リヨ 西	リヨ 南	リヨ 北	ア ン 県	イ ゼ ル 県	ロ ワ ル 県	合計
殺人事件・凶悪事件													1			1	2
すり																	0
空き巣・盗難				1			2	1	1	2	1	1	2				11
置き引き																	0
引ったくり							1										1
万引き																	0
強盗・暴力窃盗			2							5			1		1		9
窃盗(車・自転車)																	0
カー/ホームジャック													1		1		2
車内盗難																	0
猥褻行為・強姦			1														1
いたずら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為		1					1			1	1		2		1	1	8
詐欺(カードなど)																	0
拉致・誘拐																	0
破損・放火								1		1							2
ストーカー																	0
麻薬取引・所持									1			2	1				4
飲酒/無免許運転										1							1
夫婦間暴力			1														1
軽犯罪																	0
<b>合計</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>4</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>4</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>10</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>8</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>42</b>

備考欄： リヨン東→Meyzieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons  
 リヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon  
 リヨン南→Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison  
 リヨン北→Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

\* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

## [補足文書 2]

### C, 多発の手口と場所の特定・防止策（新聞による報道記事から）

- ❖ 2012年初頭の強盗事件が、昨年同時期と比較して増加傾向：

2012年初頭ですでに27件の強盗事件が発生している。昨年同時期の件数は19件。警察管轄区域で増加傾向にある。内訳として、個人に対する犯行が6件、カージャッキングが2件となっている。また、ピザ屋、タバコ屋、薬局、パン屋などの商店も被害に遭っている。被害額は一般に少なく、そのため犯人は数回犯行に出る傾向がある。2月初旬には、15歳と16歳の少年3人組が万引きの容疑で警察に逮捕された。3人組はその数日前にパン屋に押し入り、店内を荒らして武器で450ユーロを脅し取った。また、薬局で強盗を働き250ユーロを奪った事件の容疑者でもある。警察側では、警察庁技術対策課や科学警察の捜査の進歩のお陰で解決率が向上していると語っている。（プログレ紙2月17日）

- ❖ 偽の水道局職員、偽の警察官の手口を使った盗難：ターゲットは老人

2月初め以来、リヨン首都圏でこの手口を使った犯行の被害届が9件報告されている。急上昇しているとは言えないものの、老人を狙ったこの種の犯罪には十分な警戒が必要。

見知らぬ者が訪ねてきたら用心：この種の手口を使う犯罪者は、あらかじめ通りでターゲット（お年寄り）に目をつける。巧みな手口を使うため、お年寄りは適切な判断がしにくい。そのため、見知らぬ人物が訪ねてきたら、正当な理由があるように思っても絶対に家の中に入れないこと。独りのときは、相手にもう少し後で出直してもらうよう要求し、知り合い等に連絡して立ち会ってもらうのもひとつの方法だ。疑わしいと思ったら警察（17番）への通報が推奨される。また、相手の勤め先に問い合わせて身元を確認することもできる。（プログレ紙2月22日）

- ❖ 未成年者の犯罪

ローヌ県での未成年の犯罪は必ずしも増加傾向にないが、2011年における同県の犯罪の18%が13歳から18歳の年齢層による犯行。全国レベルと同等の割合で、2007年以降変化は見られない。犯罪の種類としては空き巣、二輪車および四輪車の窃盗、警察力に対する暴力が最も多い。（プログレ紙2月16日）

#### ① 空き巣、盗難

- 2月1日、リヨン8区とVilleurbanneで、2人のお年寄り女性が偽の警察官の手口を使った盗難の被害に遭い、宝石類などを盗まれた。（プログレ紙2月3日）
- 2月7日午前10時頃、リヨン4区に住む90歳のお年寄り女性が偽の水道局職員を装った盗難の被害に遭い、現金等を盗まれた。（プログレ紙2月9日）
- 2月11日夜、Vernaizonの会社社長の個人宅に空き巣が侵入し、ラップトップコンピュータと宝石類、および金庫を盗んだ。金庫の中にはペンキに含まれる鉛を検出する装置が入っていた。この装置は探知に放射線を利用するため、破損した場合に危険が伴う。万一この装置を発見した場合、近寄らず、至急イリニー（Irigny）の憲兵隊に連絡すること（電話：0478503033）。（プログレ紙2月13日）
- 2月23日午前3時頃、リヨン北地域で、車に乗った3人組が警察官らの取り締まりを拒否して逃走した。間もなくMeyzieuで車を乗り捨て逃げようとしたが間もなく全員が逮捕された。車の中から、Décinesにある食料品店から盗まれた現金の入ったレジスターが見つかったため。（プログレ紙2月25日）

#### ② 強盗・脅し窃盗

- 2月3日夜7時頃、Villeurbanneのパン屋に4人組の強盗が押し入り、経営者を脅してレジ

の現金を奪って逃げた。(プログレ紙 2月 4日)

- 2月 6日夜 7時 45分頃、Vénissieux のバー・タバコ屋で強盗。覆面の 2人組が押し入り経営者を脅した。犯人の 1人はピストルを持っており、売上金を奪うとそのまま逃げた。(プログレ紙 2月 7日)
- 2月 11日夜 7時頃、Gleizé でのタバコ屋に武装した男 3人組が押し入った。経営者は軽い怪我を負った。警察によると、現金 400~600ユーロとタバコが盗まれた。1時間後に容疑者 1人が逮捕された。(プログレ紙 2月 13日)
- 2月 24日夜 8時 15分頃、Mézyzieu のバー・タバコ屋の経営者が店を閉めようとしていたところへ武器を持った覆面の 2人組が押し入り、経営者に激しい暴力を振るって金庫の鍵を要求し、数千ユーロを奪って車で逃げた。経営者は骨折などの怪我を負った。(プログレ紙 2月 26日)
- 2月 25日午前 10時 45分頃、Bourgoin-Jallieu の宝石店で強盗事件が発生。覆面の 3人組が押し入り、現金とショーウィンドウの宝石類を奪うと外で待っていた車で逃走した。(プログレ紙 2月 26日)
- 2月 25日夜 7時 20分頃、Villeurbanne のスーパーで、1人の男がトイレトペーパーの代金を払うふりをしてレジの女性にピストルを突きつけ、売上金を奪うとそのまま逃走した。(プログレ紙 2月 27日)

### ③ 暴力・窃盗事件

- 1月 30日夜 7時前頃、Bron で、若者がいきなり 28歳の女性の喉にカッターをつきつけ、持っていたラップトップコンピュータを要求した。女性が拒否すると男は女性の脚を深く切りつけ、コンピュータを奪って逃げた。(プログレ紙 2月 1日)
- 2月 14日、18歳と 24歳の男が警察に逮捕された。2人は、前日夜 11時頃、リヨン 3区で、22歳の男性を殴って携帯電話を奪った疑い。(プログレ紙 2月 16日)
- 2月 19日日曜日午前 5時 10分頃に起きた引ったくり事件の容疑者 3人の 1人は 12歳。同人は事件の翌日リヨン 3区の自宅で 17歳の兄とともに逮捕された。やはり兄弟の 14歳の 3人目は事件当日、盗難カードを使って現金を引き出しているところを逮捕されている。カードは日曜日にバッグをひたたくられた 20歳の女性のものだった。(プログレ紙 2月 22日)

### ④ 脅し・暴力

- 2月 3日朝、Vaulx-en-Velin で、16歳の少年が、同い年の少年にタバコを 1本要求したが断られたため暴力を振るった。犯人は間もなく逮捕された。(プログレ紙 2月 7日)
- 2月 19日午前 6時 45分頃、Isle d'Abeau (Isère 県) で、男性がヒッチハイクをしようとしていたところ、4人組が乗った車が通りかかり、乗りたいたら金を払うよう要求。男性が断ると運転手以外の 3人が車から降りて凶器などを使って男性を殴ると、路上に置き去りにして去った。現場に駆けつけた消防隊は、男性の頭を 35針縫合した。(プログレ紙 2月 20日)

### ⑤ カージャック・ホームジャック

- 2月 1日夜 9時頃、Bourgoin-Jallieu (Isère 県) で、市内駐車場に車を止めた女性が見知らぬ男にドライバーを突きつけられ、車の鍵を要求され、車を奪われる被害に遭った。女性はその後すぐに警察に届を出し、犯人は翌々に逮捕された。(プログレ紙 2月 7日)
- 2月 25日夜 11時頃、Villefranche で、帰宅しようとしていた商店経営者が武装した覆面の 4人組に襲われ、自宅のアパートに連れ込まれて、ナイフで脚を切りつけられるなどの暴力を受けた。犯人らは宝石類、現金、車 3台の鍵を奪い、被害者を縛り付けると 3台の車で逃走したが、警察の取締態勢により間もなく逮捕された。(プログレ紙 2月 27日)

## 2.テロなどに関する一般治安情報

特になし。

### 3. 在留邦人の被害事例

ローヌ＝アルプ州における被害報告は特になし。

### 4. 今月の出来事

2月1日より、リヨンで、自動車セルフレンタルサービス「Car2go」の運用が始まった。自動車大手ダイムラー社とレンタカー大手のヨーロッパカーが展開するこの事業は、スマートフォンを使ったカーシェアリング・コンセプト。短距離移動用に、200台が導入される。支払いは1分単位（29セント）の従量制で、上限は12.90ユーロ（1時間）まで。駐車料金、ガソリン代、清掃、およびその他のサービスはすべてこの料金に含まれる。

登録方法：インターネットサイト（[www.car2go.com](http://www.car2go.com)）またはパール＝デュエのブティック（2, place de Francfort、リヨン3区）で会員登録が必要。登録料として14.90ユーロを支払う。

利用方法：このコンセプトでは制約をできるだけなくし、専用駐車場や事前の予約は必要ない。インターネットやスマートフォンのアプリケーションを通じて最寄の車両を見つけたら、車のフロントガラスの後ろ側にある読取装置に会員カードを差し込んでロックを解除し、車の状態をチェックしてから走行するだけ。使用時間に対応する金額が銀行カードから引き落とされ、指定区域内の駐車スペース（身障者や輸送車専用スペースを除く）であればどこでも乗り捨てられる。

現在このシステムの利用はリヨンの市内に限られているが、需要が高まった場合にはVilleurbanne市にも拡大される可能性がある。

車の破損、盗難の場合：免責金額の上限は500ユーロ。自動車事故が発生した場合、運転者は、事故の責任車がどちらに関わらず、合意調書（constat amiable）を作成し、5日以内にcar2goに送付しなければならない。

また、道路交通法違反等の違反行為による結果（罰金など）は運転者の責任となる。

詳細情報：[www.car2go.com](http://www.car2go.com)、またはCar2go/Europcar ブティック（2, place de Francfort、リヨン3区）（プログレ紙2月1日）

### 5. その他の情報

#### リヨンのトラムウェイ（路面電車）の交通事故が減少傾向

2001年にリヨンでトラムウェイの運行が再開して以来、同電車に関連する交通事故での死亡者は8人にのぼる。うち1人は自殺者、もう1人は車両の近くで発作を起こし、車両が原因による事故ではない。それ以外の死亡者は、3人が歩行者、1人が自転車運転者、2人が自動車運転者だ。路線全長50キロメートルあまり、現在の1日あたりの移動数が25万にのぼるトラムウェイの運転手が事故の責任者とされたのはこの11年間で1件も確認されていない。また、走行距離1万キロメートルあたりの事故発生件数は0.2件で、全国平均の0.25件よりも低くなっている。バスと比較すると、同じ走行距離ではトラムウェイの事故発生件数は2分の1だ。2001年の操業以来、1キロメートルあたりの事故発生件数は3分の1に減少した。

こうした事故件数低下の理由として、特に事故の多い箇所を含めた路線の安全化措置と、市民側のより注意深い態度が挙げられる。

トラムウェイは鉄道路線輸送のひとつであるため、走行の優先権を持つ。また、タイヤのある自動車と比べるとグリップ力が弱く、時速20km走行で走行の場合停止までに13メートル、乾燥した路上で急ブレーキをかけた場合に5メートルを要する。車両内の乗客の転倒を避けるため、急ブレーキは極端な場合にしか使用されない。（プログレ紙2月5日）

#### 季節性インフルエンザ

ローヌ＝アルプ地方で、季節性インフルエンザの発症件数が増えている。今年のウィルスはH3N2型がほとんど。（プログレ紙2月9日）

## 警察官と憲兵隊が合同で公共交通治安

リヨン - ヴィエンヌ間を往復する 101 番バスは、ローヌ県で最も利用者数の多いバス路線のひとつだ。ラッシュアワーの時間帯は 30 分ごとの運行で、1 人平均 2000 人（学童 800 人）を輸送する。最も事件が多いのもこの路線で、特に水曜、土曜の午後と日曜に集中している。ほとんどのケースが酔っ払って暴力的になる若者によるものだ。この路線に警察官と憲兵隊員による治安サービスが導入された。始発のペラーシュ駅で 3 人の警察官が乗車し、プリニエー駅で 4 人の憲兵隊員が乗り込む。ちょっとした迷惑行為や破損行為などを前に独りで対応しきれなくなったバス運転手を支援するもの。車両内に警察力が存在することで利用者にも安心感を与える。（プログレ紙 2 月 11 日）

## ローヌ県でのレーダー探知機反応回数が全国で第 2 位

ローヌ県で、2011 年の自動速度違反取締装置の反応回数が 46 万 5239 回にのぼり、フランス第 2 位。2010 年から 2011 年にかけて、反応回数が 19.32% 上昇した。第 1 位はエソンヌ（Essonne）県、第 3 位はノール（Nord）県となっている。